

新型コロナウイルス感染症（変異株）患者等の報告について

新型コロナウイルス感染症の患者等について、変異株PCR検査を実施したところ、N501Yの変異がある変異株（※1）の陽性例が68例確認されましたので公表します。

県内では、これまでにN501Yの変異がある変異株の陽性例が1,195例確認されており、今回判明した68例を含めて、累計1,263例となります。

詳しい内訳は、別紙のとおりです。

このため、これまでに県内で確認された変異株の感染者は、累計で1,264例（デルタ株等（※2）陽性例1例を含む）となりました。

また、国立感染症研究所でゲノム解析検査をしたところ、86例の結果が判明したと報告がありましたので、別紙のとおり公表します。

なお、変異株であっても、3密の回避、マスクの着用、手洗いなどの対策は、従来と同様に有効です。県民の皆様におかれましては、あらためて感染予防対策の徹底をお願いします。

※1 N501Yの変異がある変異株とは、新型コロナウイルスの一部の遺伝子に変異があり、従来よりも感染性が増加していること等が懸念されている変異株（アルファ株、ベータ株、ガンマ株及びシータ株が報告されている）

※2 変異株の名称については、WHO（世界保健機関）および厚生労働省が呼称を変更したことを踏まえ、以下のとおり名称を変更しています。

- ・英国で最初に検出された変異株（英国型）→「アルファ株」
- ・南アフリカで最初に検出された変異株（南アフリカ型）→「ベータ株」
- ・ブラジルで最初に検出された変異株（ブラジル型）→「ガンマ株」
- ・フィリピンで最初に検出された変異株（フィリピン型）→「シータ株」
- ・インドで最初に検出された変異株（インド型）→「デルタ株等」